

# Power-Up College English

<Remedial>



パワーアップ・イングリッシュ  
〈リメディアル編〉

JACET リスニング研究会



# Power-Up College English <Remedial>

パワーアップ・イングリッシュ 〈リメディアル編〉

by

JACET SIG on Listening

©2025 All Rights Reserved.

No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form or by any means without permission from the author and Nan'un-do Co., Ltd.



音声ファイル  
無料 DL  
のご案内

このテキストの音声を無料で視聴（ストリーミング）・ダウンロード  
できます。自習用音声としてご活用ください。

以下のサイトにアクセスしてテキスト番号で検索してください。

<https://nanun-do.com> テキスト番号 [ **512261** ]

- ※ 無線 LAN（WiFi）に接続してのご利用を推奨いたします。
- ※ 音声ダウンロードは Zip ファイルでの提供になります。  
お使いの機器によっては別途ソフトウェア（アプリケーション）  
の導入が必要となります。

※ Power-Up College English <Remedial> 音声ダウンロードページは  
以下の QR コードからもご利用になれます。



## はじめに

本書は、ロングセラーのパワーアップ・シリーズの後継編となる Nan'un-Do Semester Series Power-Up College English の第3作目にあたる総合英語教材です。英語運用の基礎となる能力を養い、実践力を身につけていくためには、多くの関連領域の知見を有機的につなぎ、実践することが重要となっています。第1作目の『パワーアップ・イングリッシュ<基礎編>』、第2作目の『パワーアップ・イングリッシュ<入門編>』は聴解力、読解力、会話力、文法力、および作文力の基礎を積極的に学習できるよう配慮しました。「入門編」よりも易しいレベルの教材を作成するにあたり、どのような構成にすればよいかについて当研究会例会で検討を重ねました。そして、トピックとして「歴史」、「宇宙探査」などが加わり、学習内容をさらに充実させました。英語研究の知見を背景にしているのはもちろんですが、英文法や聴解の説明ではできるだけ専門用語などを避け、英語全般に亘って読みやすいものにしましたので、文法、発音、読解力に裏付けられた運用力の基礎養成に向けて効果的に英語力を高めていただきたいと切に願っております。

本書の特徴は次の3点です。1点目は、題材としたトピックが大学生にとって身近な「観光」、「スポーツ」、「環境問題」、「社会問題」など、幅広い分野の話題を採用していることです。2点目は、ユニットごとに、リスニング、リーディング、及びライティングの3つのセクションで、トピックに関連性を持たせていることです。従って、学習者はインプットからアウトプットまでを体系的に学習することができます。3点目は英語の音声面を重視したことです。リスニングセクションでは英語の音声に関する説明と実戦問題が取り上げられています。スピーキングセクションでは、まず、様々な場面を意識して日常的表現の口頭練習を行い、最終的には、その英文が自然に自分の言葉として発話されることを狙っています。

刊行にあたり、南雲堂編集部の加藤 敦氏、中田 敦士氏、英文校閲などを担当していただきました Mike Critchley 氏に大変お世話になりました。ここに深く感謝の意を表します。

2024年8月

執筆者一同

# 本書の構成と学び方

本書は14ユニット（各ユニット4ページ仕立て）で構成されています。各ユニットは5つのセクションから成り、全ユニットのフォーマットを統一したことで、学習計画が立てやすく、授業展開もスムーズに進められます。

## ● Listening Section

### ◆ *Listening Points*

発音の特徴と英語リスニングのコツを音声付きの用例で学び、練習します。

### ◆ *Exercise 1*

「絵」について、3つの短い英文を聞き、正しく叙述している文を選びます。

### ◆ *Exercise 2*

短い英文を聞き、それに対する最もふさわしい応答を1つ選びます。

### ◆ *Exercise 3*

50語以内の英文を聞き、2つの設問に答えます。

## ● Reading Section

### ◆ *Words & Phrases*

Reading Passage より抜粋された語（句）に一致する日本語訳を選択します。

### ◆ *Reading Passage*

各ユニットのトピックに関連した題材について、約120～150語で書かれた英文を読みます。

### ◆ *Exercise 1*

空所補充の問題形式で本文の内容理解を深めます。

### ◆ *Exercise 2*

本文の内容について記述された英文の真偽を問う問題で、内容の理解度を確かめます。

## ● Grammar Section

### ◆ Exercise 1

各 Unit の文法項目について、基礎的な文法事項を確認します。

### ◆ Exercise 2

各 Unit の文法項目に基づいた問題で、さらに文法力の基礎を固めます。

## ● Writing Section

### ◆ Exercise 1

空所に適語を補って英文を完成させます。

### ◆ Exercise 2

Reading Passage の一部 (太字部分) を参考に、和文英訳により作文力の向上を図ります。

## ● Speaking Section

### ◆ Exercise 1

空所に適切な語句や文を補い、口頭練習を行います。

### ◆ Exercise 2

短い対話形式で発話を楽しみながら、日常生活における会話表現を身につけます。

## ● Appendix

文法の補足説明を表形式で分かり易くまとめています。予習や復習など、自主学習にも役立たせて下さい。

# CONTENTS

Unit 1	<b>Talking about Yourself</b> ..... 9
	L 英語のイントネーション R <b>Meeting Someone You've Met Before</b>
	G 主語・動詞・目的語・補語 W 「自己紹介」に関わる表現
	S 「自己紹介」の表現
Unit 2	<b>Hobbies</b> ..... 13
	L 英語のリズム R <b>An Email to a Host Family</b>
	G 5 文型 W 「趣味」に関わる表現 S 「出会い」の表現
Unit 3	<b>Food</b> ..... 17
	L 弱形と強形 R <b>Popular Local Canned Foods</b>
	G 現在・過去・未来 W 「食べ物」に関わる表現 S 「見舞い」の表現
Unit 4	<b>Sports</b> ..... 21
	L 意味のグループ単位での理解 R <b>A Super Hero</b>
	G 現在進行形 W 「スポーツ」に関わる表現 S 「約束」の表現
Unit 5	<b>Culture</b> ..... 25
	L 消える音に慣れる (1) R <b>Guy Fawkes Night</b>
	G 現在完了形 W 「文化」に関わる表現 S 「ほめ言葉・感謝」の表現
Unit 6	<b>Transportation</b> ..... 29
	L 消える音に慣れる (2) R <b>Airfare</b>
	G 助動詞 W 「交通・乗り物」に関わる表現 S 「あいづち」の表現
Unit 7	<b>Tourism</b> ..... 33
	L 消える音に慣れる (3) R <b>Virtual Tourism</b>
	G to 不定詞 W 「観光」に関わる表現 S 「計画・希望」の表現
Unit 8	<b>Social Issues</b> ..... 37
	L 消える音に慣れる (4) R <b>The Declining Birthrate</b>
	G 動名詞 W 「社会問題」に関わる表現 S 「注意・許可」の表現

## Unit 9

### Education ..... 41

- L つながる音に慣れる (1) R **Early English Language Education**  
G 受動態 W 「教育」に関わる表現 S 「謝罪」の表現

## Unit 10

### Health..... 45

- L つながる音に慣れる (2) R **Rice Porridge or Chicken Noodle Soup?**  
G 前置詞 W 「健康」に関わる表現 S 「提案・同意」の表現

## Unit 11

### Environmental Issues..... 49

- L つながる音になれる (3) R **The Earth's Environment**  
G 接続詞 W 「環境問題」に関わる表現 S 「依頼・承諾」の表現

## Unit 12

### Space Exploration..... 53

- L 変化する音に慣れる (1) R **Space Food**  
G 比較 W 「宇宙探査」に関わる表現 S 「申し出・断り」の表現

## Unit 13

### History ..... 57

- L 変化する音に慣れる (2) R **The Palace of Westminster and Big Ben**  
G 関係代名詞 W 「歴史」に関わる表現 S 「困惑・心配」の表現

## Unit 14

### Business ..... 61

- L 変化する音に慣れる (3) R **Subscription Business**  
G 関係副詞 W 「ビジネス」に関わる表現 S 「別れの挨拶」の表現

## Appendix

### Unit 別 Grammar Points の解説 ..... 65





# Unit 1 Talking about Yourself

## ● Listening Section ●



### Listening Points

#### 英語のイントネーション —疑問文の抑揚について—

平叙文では文末の語を下げて読みます (↘)。疑問文では以下のように、① Yes / No 疑問文は文末で上げ (↗)、②疑問詞を使った疑問文は下げて読みます (↘)。また、③二者択一の疑問文の場合は、“or” の前の語を上げ、最後の語は下げて読みます。

① **Do you like apples?** (↗)

あなたはりんごが好きですか。

② **What do you want to eat?** (↘)

あなたは何を食べたいですか。

③ **Do you want to eat a banana (↗) or strawberries?** (↘)

あなたはバナナを食べたいですか、それともイチゴを食べたいですか。

### Exercise 1 音声を聞いて、絵について正しく描写している英文を選びましょう。



1. (a) (b) (c)



2. (a) (b) (c)

### Exercise 2 音声を聞いて、応答として適切なものを選びましょう。



- |                                   |                                     |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. (a) My mother is from Toronto. | 2. (a) I was shopping at that time. |
| (b) I'm working from home.        | (b) I'm a doctor.                   |
| (c) I'm from Tokyo, Japan.        | (c) I did my homework.              |

### Exercise 3 音声を聞いて、次の設問に答えましょう。



- |                                    |                                      |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. What is the man looking for?    | 2. What does the woman want to know? |
| (a) an engineer                    | (a) the man's career                 |
| (b) a new job                      | (b) the man's name                   |
| (c) the location of Top Technology | (c) the man's email address          |

## ● Reading Section ●

**Meeting Someone You've Met Before****Words & Phrases** 次の語句の日本語訳を選びましょう。

1. meet ( ) 2. sure ( ) 3. right ( ) 4. last ( )  
 5. tour conductor ( ) 6. anyway ( ) 7. office ( ) 8. field trip ( )  
 9. coincidence ( ) 10. get together ( )

- (a) 添乗員 (b) ところで (c) 会う (d) 集う (e) 正しい  
 (f) 事務所 (g) 偶然 (h) すぐ前の (i) 遠足 (j) どこかで

**Reading Passage**

Steve : Hi. I'm Steve. Nice to meet you.

Karen : Hi, I'm Karen. Nice to meet you, too.

Oh, I think I've seen you somewhere before.

Steve : Really? Oh, you're right.

You were at Liberty Travel last week.

I saw you there.

Karen : Yes, I was there last week.

I work there as a tour conductor.

Anyway, what brought you to the office?

Steve : I'm planning a field trip for next month.

I teach at a high school.

Karen : How nice! Do you live near here?

Steve : No, **I live in Brooklyn.**

Karen : What a coincidence!

I live in the same area, too.

Steve : Maybe we can get together some time and have dinner  
 at the new Italian restaurant in Brooklyn.



(120 words)

タイトルの Meeting Someone You've Met Before の have met は以前に「会ったことがある」という意味で「経験」を表す表現。I've seen you somewhere before「私は以前にあなたにどこかで会ったことがある」の have seen も「経験」を表す表現。 Liberty Travel リバティ旅行社 What brought you to ~? ~に来た理由は何ですか。 What a coincidence! 何て偶然なのでしょう。

**Exercise 1** ( ) 内に入る最も適切な語句や文を選んで、文を完成させましょう。

- Karen works as a(n) ( ) now.  
(a) tour conductor (b) office worker (c) high school teacher
- Steve and Karen will probably meet again because ( ).  
(a) they both teach at the same school  
(b) they must discuss the plan for his trip  
(c) they will probably have dinner together

**Exercise 2** 次の各文が本文の内容に合っていれば T(True)、合っていないれば F(False)と書きましょう。

- \_\_\_\_\_ 1. Both Karen and Steve live in Brooklyn.  
\_\_\_\_\_ 2. Karen works at a cafe.  
\_\_\_\_\_ 3. Steve is planning a field trip.

### ● Grammar Section ●

#### 主語・動詞・目的語・補語

##### Grammar Points

英語の文は、主語 ( subject )、動詞 ( verb )、目的語 ( object )、補語 ( complement ) で構成されています。主語 ( S )、動詞 ( V )、目的語 ( O )、補語 ( C ) を見極めると文の構造がわかり、意味を理解しやすくなります。

- ① He is a teacher. ( S = C ) ⇒ 補語は主語の説明をする働きがあります。  
S V C (「彼」と「先生」にイコールの関係があります。)
- ② He teaches English. ( S ≠ O ) ⇒ 目的語は動詞の後に置かれ、主語の動作の対象を表します。  
S V O (「彼」と「英語」にはイコールの関係がありません。)

**Exercise 1** ( ) 内に入る最も適切な語を選びましょう。

- Tony and Sue ( take / takes / taking ) the same class.
- Timothy ( do / are / is ) always happy.
- There ( are / is / does ) four people in my family.

**Exercise 2** 下線部の語について該当する文の要素を下から選びましょう。

- I have two dogs. \_\_\_\_\_
- The students walk to school. \_\_\_\_\_
- My aunt is a musician. \_\_\_\_\_

( 主語 / 動詞 / 目的語 / 補語 )

## ● Writing Section ●

## 「自己紹介」に関わる表現

**Exercise 1** ( )内の語を並べかえて英文を完成させましょう。

- 私の友人の中にはフランス語を話す人もいます。( speak / French / friends )  
Some of my \_\_\_\_\_.
- 私の三人の子どもたちは生徒です。( students / are / children )  
My three \_\_\_\_\_.
- 私は学校で英語を学んでいます。( school / at / English )  
I study \_\_\_\_\_.

**Exercise 2** 日本語を英語に直しましょう。

私は東京に住んでいます。

---

## ● Speaking Section ●

## 「自己紹介」の表現

**Exercise 1** 音声を聞いて、聞こえた文を選び、口頭練習をしましょう。



A : Hi. **I'm Christine. Please call me Chris.** Nice to meet you.

B : Hi, Chris. I'm Sophia. Nice to meet you, too. What do you do?

A : 1 \_\_\_\_\_

( I'm a systems engineer. / I'm a student. / I teach at college. )

B : How nice! Where do you live?

A : 2 \_\_\_\_\_

( I live in Brooklyn. / Near here. / I live in my school dormitory. )

How about you?

**Exercise 2** Exercise 1 で選ばなかった表現を下線部に入れて、会話を自由に練習しましょう。

# Unit 2 Hobbies

## ● Listening Section ●



### Listening Points

#### 英語のリズム —強弱リズムを意識しよう—

英語のリズムには、強弱のリズムがあります。一般的に、意味内容を表す語（内容語）は、強く、長く、文法的な機能を果たす語（機能語）は、弱く、短く発音されます。

強く発音（●）：内容語（名詞、一般動詞、形容詞、副詞、数詞、疑問詞など）

弱く発音（○）：機能語（冠詞、人称代名詞、助動詞、関係詞、前置詞、接続詞など）

1. Joe can help you do the dishes.

● ○ ● ○ ● ○ ●

ジョーは、あなたが皿洗いをすることができます。

2. This is the house that Jack built.

● ○ ○ ● ○ ● ●

これは、ジャックが建てた家です。

**Exercise 1** 音声を聞いて、絵について正しく描写している英文を選びましょう。



1. (a) (b) (c)



2. (a) (b) (c)

**Exercise 2** 音声を聞いて、応答として適切なものを選びましょう。



1. (a) I'm free tomorrow.

(b) I watch movies.

(c) I have some time.

2. (a) Hawaii.

(b) At 3:00 p.m.

(c) In summer.

**Exercise 3** 音声を聞いて、次の設問に答えましょう。



1. Where are they?

(a) At a movie theater.

(b) At a hospital.

(c) At a station.

2. How many tickets did the man buy?

(a) One.

(b) Two.

(c) Three.